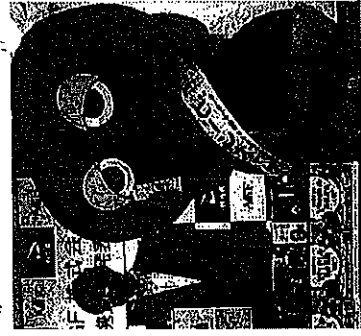


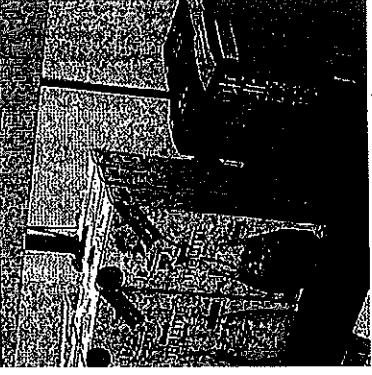
# 参運動を

火田県連携

## 提案強化



連携企画発表会に出席した神部秀行副知事(左)と山田豊也支社長



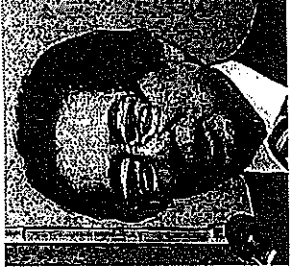
「アレンティ サリットル」

リースを拳  
び、マイボ  
トルなら  
好きな飲料  
を話めて持  
ち運びがで  
きる。商品  
のバラエテ  
ィさを楽

付近で啓発POPを掲  
示する。そのうち39店  
舗では、小型モニター  
を用いたオリジナル動  
画の放映も行う。  
県主導のプレゼント  
キャンペーンも実施。  
応募者の中から抽選で  
30人に、秋田県オリジ

の景品をプレゼント  
し、県民への周知を図  
るという。  
「スティック」も  
マイボトル用に  
環境意識の高まりを  
背景として、水筒やタ  
ンクなど、マイボ

えて、持ち運  
る利便性に  
冷性或保温  
性にも支持を  
る。 飲用ス  
に併せて、「  
も用スティ  
ウタードリ



浅野秀則理事長



太刀川浩一警察庁交通局長



高市早苗衆議院議員

全日本テリバリ工業  
安全運転協議会(SD  
A)正会員8社、賛助  
会員44社)は7日、東  
京都千代田区の新大塚  
で発足30周年目の  
「令和5年度定時総会  
・理事会・評議会」を  
行い、22年度の事業実  
績報告および決算報  
告、23年度の事業計画

案および予算案を原案  
通り、満場一致で可決  
した。総会後の懇親会  
には正会員、賛助会員、  
警察庁・警視庁の現職  
・OBら約  
70人が参加  
した。浅野  
秀則理事長  
(左)とシ  
ズ会長兼

CEO)、高市早苗衆  
議院議員、太刀川浩一  
警察庁交通局長らがあ  
いさつした。  
浅野秀則理事長の話

今回の総会は30周年  
目の節目、懇親会は4  
年ぶりの開催。30年は  
あつという間で短く、  
この3年間はコロナ禍

続くテリバリ工業の発  
展に努める。  
太刀川浩一警察庁交  
通局長の話。特定の業  
界で安全に特化した組

安全運転の意識を生か  
して広く交通安全に貢  
献してほしい。  
高市早苗衆議院議員  
の話。コロナ禍で大変  
だったが、果敢もり生  
活も皆がテリバリの  
ありがたみを知ったと  
思う。私は現在、科学  
技術政策と経済安全保  
障を担当し、自動走行  
システムの研究や国産  
ドローンの開発に関わ  
り、安全運転とセキエ  
リテイを確保した実  
用化に努めている。皆  
さまの健全な発展を願  
う。(岡安秀一)

連合会(全粉  
日、東京都中  
野区)と  
第4回定時総  
会、第4期  
・決算と策  
画、収支予  
算、総会後  
会と懇談会  
た。  
懇親会の冒  
頭、洋一郎会長は  
「小粉  
要食糧の安全  
確保に努  
め、安全運  
転を確保し  
ます」とま  
た、

## 全日本テリバリ工業安全運転協議会 発足30周年目

# 事故減らし健全発展

でも長かった。そ  
れだけに交通安全の重  
要性をあらためて見直  
す機会にもなった。今  
後も当局の指導に従い  
ながら交通事故を減ら  
し、次の40年、50年

るのは大変心強くあり  
がたいこと。交通警察  
と最も近い意識を共有  
する団体だと思う。コ  
ロナ収束後は活動再開  
による交通事故の増加  
が心配。30年で培った

織を独立し  
て設けているのは当協  
議会だけ。  
それが30年  
も続いてい  
るは大変心強くあり  
がたいこと。交通警察  
と最も近い意識を共有  
する団体だと思う。コ  
ロナ収束後は活動再開  
による交通事故の増加  
が心配。30年で培った

会と懇談会  
た。  
懇親会の冒  
頭、洋一郎会長は  
「小粉  
要食糧の安全  
確保に努  
め、安全運  
転を確保し  
ます」とま  
た、

# 総会

にきわいを取り戻して  
いる。旅行やインバウ  
ンド需要なども活発化

ほと不安定だ。国産米  
使用推進団体協議会  
先日の総会でわれわれ

府関係者に対してコロ  
ナの影響が払拭される  
までの間、各種支援を

全国小麦粉卸商組合